

妊娠中の至適体重増加の検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹田, 純, 板倉, 敦夫, 森崎, 菜穂, 青木, 茂, 左合, 治彦, 永松, 健, 増山, 寿, 松原, 茂樹, 馬詰, 武, 光田, 信明, 伊東, 宏晃, 池田, 智明 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00004031

第 45 回日本女性栄養・代謝学会学術集会

<一般口演 1>

妊娠中の至適体重増加の検討

1 順天堂大学、2 国立成育医療研究センター、3 横浜市立大学、4 東京大学、岡山大学、6 自治医科大学、
7 北海道大学、8 大阪母子医療センター、9 浜松医科大学、10 三重大学

竹田 純 1

板倉敦夫 1、森崎菜穂 2、青木 茂 3、左合治彦 2、永松 健 4、増山 寿 5、松原茂樹 6、馬詰 武 7、
光田信明 8、伊東宏晃 9、池田智明 10

【緒言】妊娠中の至適体重増加の推奨は 1997 年の「妊娠中毒症の栄養管理指針（周産期委員会の報告）」
があったが、現在は削除されており、新たな推奨の作成が必要である。本研究では周産期登録データベ
ースを用いて様々な周産期イベントの発症を考慮した至適体重増加の推奨を作成することを目的とする。

【方法】2015 年から 2017 年までの期間に周産期登録データベースに登録された出産データを対象とし
た。このデータベースに含まれる 719,723 件の出産から、多胎妊娠、死産、母体情報の不足を除外し、さ
らに 18 歳未満もしくは 45 歳以上の女性、基礎疾患（高血圧、糖尿病、向精神薬の使用）、既往帝王切開
術、妊娠 28 週未満および妊娠 42 週以降の出産などを除外した。対象となった産婦を妊娠前の BMI から
やせ ($BMI < 18.5$)、標準体重 ($18.5 \leq BMI < 25$)、肥満 1 ($25 \leq BMI < 30$)、肥満 2 ($30 \leq BMI$) の 4 つ
に分類し、低出生体重児、巨大児、34 週未満の早産、器械分娩、緊急帝王切開術、妊娠高血圧腎症の 6
つのアウトカムの発症率を妊娠中の体重増加から検討した。さらに周産期イベントに重みづけを行うた
め、日本産婦人科医学会の会員を対象としてどのアウトカムに重きを置いて妊娠中の体重指導を行うか
に関する意向調査を行った。

【結果】対象となった出産は 419,114 件で、やせ、標準体重、肥満 1、肥満 2 はそれぞれ 74,665 件、
303,426 件、32,336 件、28,687 件であった。意向調査では施設群別の予測確率が概ね同じであったため、
施設群で分類せず、アンケート結果の平均値で重みづけを行ったところ、やせでは 12-15 kg、普通体重
では 10-13kg、肥満 1 では 7-10 kg、肥満 2 では上限 5 kg までを目安とした個別対応が最も周産期イベ
ントの発症が少ない結果であった。

【結語】周産期登録データベースを用いて妊娠中の至適体重増加推奨を作成した。本推奨は過去の出産
データを科学的に検討したものであるが、今後、実地臨床で実際に周産期イベントの発症が少なくなる
かさらなる検討が必要と思われる。